

「日経研月報」～平成21年6月号(第372号)～

時評	ガラスと太陽光発電の話 日本板硝子株式会社 取締役会長 藤本 勝司 …現在、脚光を浴びている当社の太陽電池用ガラス。そこには「ペテラン演歌歌手」のような長い下積み時代があった
今月の特別記事	オバマ米政権と日本の存在感 読売新聞政治部 記者(前ワシントン支局) 五十嵐 文 …上院議員時代から大統領選までオバマを取材してきた読売新聞・五十嵐記者が、オバマ政権の対日政策を展望する
寄稿	シリーズ「日本の景気・世界の景気」第12回 地域の景気循環の計測 ～電力供給地域別景気指数の開発～ 財団法人電力中央研究所 主任研究員 林田 元就 …地域別の景気指数と景気転換点の推定結果から、景気循環特性を類型化し、その特性を生む要因を明らかにする
寄稿	シリーズ「金融と不動産の融合」～第8回「環境不動産」の経済価値～ 東京大学大学院経済学研究科 講師 吉田 二郎 …環境問題の最重要セクターの一つである不動産。環境不動産の経済的な価値がどのような形で表れるのか整理する
寄稿	「絆」で乗り切る格差社会 ～第6回 高齢者向け社会的企業の意義～ 日本大学法学部 教授 稲葉 陽二 …高齢者のスキルが活用できる場を提供し、ソーシャル・キャピタルを育むという観点から、社会的企業について考える
寄稿	「集客環境創造企業」目指し人材育成や組織改革推進 ～大規模プロジェクトから中小案件まで取り込みを狙う～ 株式会社乃村工藝社 代表取締役社長 渡辺 勝 …ディスプレイとは、事業主のメッセージと一般来場者をつなぐ「集客の場」を企画・制作するためのソリューションの提供
海外情報	転換期を迎えたヘッジファンド 株式会社日本政策投資銀行ニューヨーク駐在員事務所 首席駐在員 梶 雅昭 …急成長を続けてきたヘッジファンド。金融危機以降の最新の状況を当局による規制強化の動きと合わせて紹介する
海外情報	<変わる米国ビジネスの潮流と日本(第22回)> 米国市場の重要性と難しさ(1) 日本貿易振興機構(JETRO)サンフランシスコ 調査ディレクター 中島 丈雄 …世界経済回復の鍵を握る米国市場。世界最大の市場を持つ多様性を、年齢、人種、所得階層等の属性から解明する
海外情報	<ビジネスリーダーのための Emerging Asia Platform 2009(第6回)> アジアにおける日系中小製造業の「現場」の課題と実力(前篇) クロスボーダー・ジャパン株式会社 代表取締役社長 大場 由幸 (株式会社日本経済研究所国際局 主任研究員) …日系中小製造業の競争力の源泉である生産「現場」の課題と実力を、集積度の高いタイとベトナムの事例等とともに考察する
地域情報 <北から南から>	四国のポテンシャルと地域づくりの取り組み 四国経済連合会 調査部調査役 石田 明生 …一つの地域ブロックとして見た四国の実情を、産学官連携の取り組みや個性的な地域づくりの事例等とともに紹介する

地域情報
＜地域だより＞

中長期視点からみた地域産業集積の方向性 ～最近の環境変化を踏まえて～

株式会社日本政策投資銀行地域振興部 主任研究員 市川 豊英

…金融危機後の工場建設・閉鎖の動向を分析し、中長期的視点からみた今後の地域産業集積の方向性について考える

コラム
＜永田村通信＞

人気のシーソーゲーム

コラム
＜直言・曲言＞

始まった新通貨戦争

産経新聞社 特別記者・編集委員 田村 秀男

コラム
＜ヨーロッパの街角から＞

崩壊から20年 ベルリンの壁は今？

ジャーナリスト 松田 雅央

コラム
＜経済独眼＞

投資業務について雑感

株式会社日本政策投資銀行投資統括部 次長 添田 重行

景気ウォッチャー調査

経済・産業メモ

主要経済指標

日経研だより
